

## 森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会議名	平成28年3月森町教育委員会定例会		
開催日時	平成28年3月25日(金) 13時30分		
会場	森町文化会館 第3研修室		
出席委員	委員長	井口 始	
	委員長職務代理者	岡本 孝祥	
	委員	村松加代子	
	委員	鈴木 眞子	
	教育長	比奈地敏彦	
出席者	学校教育課 課長	西谷ひろみ	社会教育課 課長 鈴木富士男
	課長補佐	三倉徳泰	課長補佐 北島恵介
	学校管理係長	小澤貴代美	社会教育係長 藤原 崇
	庶務係長	野口 忠	
傍聴者	なし		

### 1 開会

委員長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-----	------------------

### 2 前回会議録の承認

委員長	事前に配付してある前回定例会及び臨時会会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
委員長	前回定例会及び臨時会会議録の承認を宣し、教育長の報告を求める。

### 3 教育長の報告

委員長	3月に開催及び出席した各種会議等について、教育長からの報告を求める。	
教育長	2日・園長・校長会	(教職員への感謝、1か月の過ごし方、人事日程確認、危機管理、年度初めの提出物)
	・静西教育事務所長、次長訪問	(27年度末人事について意見交換)
	3日・臨時教育委員会	(人事内申案承認)
	4日・臨時校長会	(人事内申提示等)
	5日・森町教育顕彰式	(教育功労〈個人9人、団体1〉各小中学校児童生徒、森町在住の高校生のスポーツ文化功績者の表彰、受賞作品の発表等)
	7日・生涯学習担当者研修会	(子供向け講座等参加状況、社会福祉関係事業実績について等)
	8日・課長会送別会	(町長退任送別会)
	9日・磐周教頭会役員来庁	(次年度磐周教頭会役員報告)
	・村松町長退任式	(村松町長退任式)
	10日・太田新町長就任式	(太田新町長就任式)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員協議会</li> <li>・ 課長会</li> </ul>	(行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例)
11日	・ 3月議会本会議(招集)	(3月議会に向けて) (新町長所信表明、平成28年度森町一般会計予算、公の施設の指定管理者の指定について等)
14日	・ 臨時園長会	(幼稚園職員異動内示案提示等)
15日	・ 文化財審議委員会	(本年度の総括、次年度に向けて意見交換)
16日	・ 森町議会(二日目)	(条例、一般・特別会計予算等についての質疑)
17日	・ 神間貞吉元教育長葬儀	(葬儀参列、弔辞)
	・ 一般質問打合せ会	(新町長の町政運営について等)
17日	・ 森中学校卒業式	(65人の卒業生、巣立ちに相応しい締まった卒業式)
	【※県職内示】	
18日	・ 三倉小学校卒業式	(3人の卒業生、小規模校らしさ、自己表現力の豊かさ ※在校生の涙が印象的)
	【人事異動新聞発表】	
22日	・ 常任委員会	(28年度予算の補足説明と質疑)
	・ 臨時校長会	(辞令面配布)
24日	・ 臨時課長会	(役場職員人事案提示)
25日	・ 森町教育委員会	(定例教育委員会)
	※教諭一斉異動訪問日	
28日	・ 議会最終日	(討論、採決、常任委員長報告、一般質問)
29日	・ 交通安全推進会議	(活動報告並びに次年度活動計画、閉会の言葉)
	・ 教職員離任式	(異動者30人〈異動率26%〉)
	・ 退職者送別会(県職・町職)	(5人〈校長3人、教諭2人〉)
30日	・ 文化会館運営委員会、ミキホール文化振興合同会議	(文化会館の活用状況、決算、28年度事業計画と予算)
31日	・ 町職退職辞令交付式	(教育委員会関係退職者1人〈嘱託職員含むと5人〉)
委員 長	教育長の報告について、質疑を求める。	
委員 全員	質疑なし承認。	

#### 4 付議する案件 【議 事】

委員 長	議事について事務局に説明を求める。 議第35号について説明を求める。
学校教育課 課長補佐	議第35号 平成28年度準要保護の認定について 平成28年度準要保護の認定について、平成27年度に認定している保護者から継続の申込みがあったので、認定してよろしいか教育委員会の議決を求める。 28年3月末現在で小学校が13人、中学校が10人の合計23人。この3月に中学校卒業が3人おり、27年4月現在では、小学校が12人、中学校が8人の合計20人。理由は全て同じで保護者の職業が不安定で、生活状態がきわめて悪いと認められるからである。引き続き認定していきたい。
委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	事務手続や審査上の課題や問題点はあるか。
学校教育課 課長補佐	特にない。いずれのケースも生活状態がきわめて悪いと認められるため、認定をお願いしたい。
委員 全員	他に質疑なく承認。

委員 長	議第36号について説明を求める。
庶務係長	<p>議第36号 平成28年度学校医等の委嘱について</p> <p>4ページの平成28年度学校(園)医等担当校一覧をご覧いただきたい。学校医・学校歯科医・学校薬剤師については、森町立小・中学校管理規則に基づいて委嘱するものである。各園長、各小中学校長から一覧のとおり内申があった。</p> <p>平成27年度からの変更点は、内科医は新たに油谷先生が加わり、西村先生が担当していた一宮幼稚園と宮園小学校を油谷先生に担当していただく。歯科医については変更はない。薬剤師については、森町病院の中村先生がお辞めになって、その分を新たに渡邊先生と伊藤先生に加わっていただいた。承認をいただければ4月1日付けで委嘱をしたいと思う。</p>
委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	医師不足を耳にするが、森町以外の方もいるのか。
庶務係長	学校医で耳鼻咽喉科医の森本さんと学校薬剤師の森川さんが袋井市の方である。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	議第37号について説明を求める。
社会教育係長	<p>議第37号 平成28年度社会教育推進員の委嘱について</p> <p>少子高齢化等の様々な問題により、人とのつながりが薄くなっている。一人一人が孤独・孤立化しやすい傾向にある。そこで町内会のコミュニティー活動を円滑に進めたく、社会教育推進委員の委嘱について教育委員会の議決を求める。任期は平成28年4月1日から平成29年3月31日。118名の方が町内会から推薦されている。</p>
委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	町内会の活性やコミュニティーの充実の役割を果たしてもらっている。
村松委員	名簿の網掛けの意味を教えてください。
社会教育係長	網掛けをした方は、昨年度に引き続いてお願いする方である。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	議第38号について説明を求める。
学校教育課長	<p>議第38号 森町教育委員会委員長の選任について</p> <p>教育委員会委員長の任期満了に伴い、新たな委員長の選任を求める。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、委員長の任期は1年である。現在の井口委員長におかれては4月1日に就任されているので、3月31日を持って任期が満了になる。4月1日からの委員長の選任について、ここで決めていただく。選任の方法は、必ずしも投票によることを要せず、指名推薦の方法によることも差し支えないとされている。その辺も含めて4月1日からの委員長の選任についてお願いしたい。</p>
委員 長	私事を私が進めるのは違和感があるが、町の規則を見ると課長の説明のように選挙によるが、投票か推薦のどちらでもよいとなっている。課長からはそこまでの提案であり発議をしていただいたので、後は、誰を推薦するのかおまかせするということがあったがどうか。

岡本委員	推薦で井口委員長にお願いしたい。
委員長	他の委員はどうか。
村松委員 鈴木委員 教育長	全員一致で井口委員長に引き続きお願いしたい。
委員長	体力・知力ともに不安はあるが、精一杯鋭意努力する。

【報告事項】

委員長	続いて報告事項について事務局に説明を求める。
委員長	報第44号について説明を求める。
社会教育課 課長補佐	報第44号 飯田城駐車場等整備完了について 本年度飯田城の駐車場の整備を計画していたが、写真にあるように立派な駐車場が整備できた。これについては役場の建設課とのタイアップもあり、道路は建設課で、駐車場が教育委員会の所管となる。マイクロバスも入れるスペースを確保している。道路は全長350mのうち50m完了した。現在マイクロバスは入ってこれない状況である。場所は下図に示したとおりである。
委員長	以上について質疑を求める。
委員長	写真で見ると素晴らしい駐車場であるが、利用価値はどうか。
社会教育課 課長補佐	従来は駐車場へ車がなかなか入ってこれないような農道であった。農地の買い上げをして、順次、崇信寺の方から車が入ってくるように計画をした。右手に行くと崇信寺、左手に行くと下飯田に出る。無理して入れば左側から入れる。このところは砂利が敷いてありきれいであるが、それ以外の所はどろどろの道である。飯田城については、ホームページを地元で作るなど広く紹介されている。名古屋から70～80人見学にきた。今後地元の人たちが地域を守り発展させる核にもなる。教育委員会としては文化財の扱いとなるが、いろいろな分野に刺激を与えるものとなっている。今後の長期計画の中で有効に活用される。
委員長	小学校の課外活動にも利用されているのか。
社会教育課 課長補佐	飯田地区の地域を知るための歩け歩け大会が今年度で2年目になり、社会教育関係や町内会の方々250名が、飯田地区を知ろうと訪ねて、甘酒を振る舞ったり、ビンゴゲームをやったり一大イベントを開催した。広く活用されつつある。
委員長	益々活用されて、人が寄る場になればありがたい。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第45号について説明を求める。
社会教育課長	報第45号 平成27年度森町立図書館図書寄贈について 公益信託基金の西川・土屋両基金より、地域の人材育成に寄与するため、児童読み物、辞典等107冊、173,451円分の図書を寄贈していただいた。 また、森町ライオンズクラブより、森町立図書館の図書充実のため、視覚障害者用大活字本10冊338,912円分、児童用図書、大型絵本等12冊35,208円分の合わせて22冊69,120円分の寄贈をいただいた。

	公益信託助成基金からは、特別給付（障がい者用）として、DVDデュプリケーター（録音図書複製機）1台58,526円が、当館を通じて録音図書作成ボランティアグループなすなの会へ寄贈された。
委員長	以上について質疑を求める。
委員長	公益信託助成基金とは。
社会教育課長	ご本人が亡くなられて信託財産ということで信託銀行に預託をして、信託銀行の中で実行委員会を立ち上げ、毎年、森町から申請をした分について協議をしていただいて、寄贈していただいている。
岡本委員	この方たちは森町以外にも寄贈しているのか。
社会教育課長	県内の御前崎以西の公立図書館に毎年寄贈している。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第46号について説明を求める。
学校教育課長	報第46号 平成28年2月森町議会臨時会報告について 2月29日に議会の臨時会が行われた。教育委員会の2月定例会で補正予算の内容は説明させていただいたが簡単に説明する。歳出では、小学校・中学校・幼稚園の修繕費を計上した。小学校では宮園小の消火栓の改修、中学校では旭が丘中ランチルームの雨漏り・森中体育館の床の改修・泉陽中のプール底面塗装の改修、幼稚園では一宮幼の雨漏りの改修となっている。中学校の教育振興費の図書購入費は、藤本さんからいただいた寄附により、新入生に「心に響く小さな5つの物語」という冊子を入学式に配布する。修繕については年度内に工事が完了するように進めている。歳入については、藤本さんからの寄附金を計上した。
委員長	以上について質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
委員長	報第47号について説明を求める。
学校教育課長	報第47号 平成28年3月森町議会定例会報告について 3月11日に議会が招集され、28日が議会最終日となっている。会期は18日間で開催されている。教育委員会関係では、平成28年度一般会計予算について、初日11日に提案理由の説明が町長から、副町長から詳細の補足説明が行われた。2日目となる15日には、予算について本会議の中で質疑が行われた。また、予算については常任委員会に付託され、17日には、森小学校の工事箇所と文化会館の中央監視装置、飯田幼稚園の預かり保育の保育室について視察が行われた。22日の常任委員会では、予算の中身について審議がされた。一般質問については、教育委員会関係はなかった。28日の最終日には、常任委員長から委員会の報告が行われ、条例・一般議案・当初予算について討論・採決が行われる。
委員長	続いて報第48号について説明を求める。
学校教育課長 社会教育課長	報第48号 平成28年度予算等について 平成28年度森町一般会計予算は、新町長の就任が3月10日ということで、来年度予算は、政策的な経費を除く「骨格予算」により編成されている。 1ページの当初予算グラフをご覧いただきたい。教育費の歳出は、下の円グラフであるが、8億1,334万円で町全体予算の13%を占めている。これは前年と比較すると金額では、総合体育館の備品購入の完了により5,000万円程度の減額と、骨格予算のため2.37%

の減額ではあるが、教育費の総予算に占める割合は、11.2%から13%に上がっている。

学校教育課所管の予算について申し上げますと、歳入予算総額は、9,304万6千円で、前年度と比較し3,363万5千円増額となり、伸び率は、56.6%となる。

また、歳出予算は、教育費総額のうち学校教育課分は5億9,631万9千円で、前年度と比較し、4,035万5千円の増額となり、7.3%の伸び率となった。学校教育課の予算が、骨格予算でありながら大きく伸びているのは、森小学校校舎の雨漏り・外壁改修工事費並びに教育用コンピュータの入れ替えによる使用料の増加、預かり保育を全園で開始するための指導員の賃金や開設準備費用、また、泉陽中学校区の給食会計を一般会計化するため、食材料の購入費用を計上したためとなっている。

歳入についても、今申し上げた歳出に伴う国・県からの補助金や負担金、また、雑入の増加等によるものである。

それでは、歳入歳出の予算内容について「一般会計予算に関する説明書」により項目順にかいつまんで、説明させていただく。最初に歳出予算より説明する。

146ページ・147ページ 中段から10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費172万7千円は、教育委員会運営に係る費用で、報酬や旅費、教育長交際費等である。

次頁の2目事務局費は、8,968万6千円で、前年度と比較し、874万1千円の増額となっている。増額の主な理由は、学校教育課職員1名増員による、給与費の増と、来年度は「北海道森町児童生徒交流事業」が訪問の年に当たるため、訪問のための引率者負担金と児童生徒への補助金が増額となったためである。

右ページ説明欄の0002事務局経費の中で、大きい金額のところと新規事業について申し上げますと、臨時雇賃金1,598万9千円は、指導主事、給食事務、用務員、直接雇用の中学校担当ALT等々、9人分の賃金となっている。委託料の外国語教育支援業務委託料540万円は、幼稚園と小学校担当のALTの委託費用である。0003北海道森町児童生徒交流事業は、本年度訪問のため前年度比86万円の増となっている。次のページ0004広島平和記念式典小中学生派遣事業については、来年度は、泉陽中学校区から児童生徒4名、引率者2名の6名の派遣費用となっている。

次に、2項小学校費であるが、1目学校管理費は1億2,314万5千円で、対前年比3,383万円の増である。この内訳は、小学校に勤務する用務員正規3名分の給料等と【0002小学校管理運営費】4,688万7千円、153ページ【0003小学校施設整備費】の森小学校防災機能強化工事で雨漏りと外壁の改修工事に係る5,731万6千円となっている。151ページの臨時雇賃金710万5千円は、特別支援教育支援員を1名増員したため複式学級支援員と合わせて7人分の賃金となっている。

153ページ、下段の2目教育振興費は2,228万8千円で、前年と比較し403万7千円の減額である。減額の理由は、教科書改訂が4年に1度であり、小学校の教科書整備事業959万6千円が完了したためであるが、教育用コンピュータが買い取りであったものを順次リースで入れ替えるため、コンピュータ使用料が1,033万1千円と472万3千円の増額となっているので、その差額が減額分となる。

続いて、154ページ、3項中学校費、1目学校管理費は4,065万9千円で、前年と比較して、150万2千円の減額となっている。減額の理由は、骨格予算により、修繕費を計上していないことが主な理由となっている。

156ページの2目教育振興費は、2,112万3千円で、対前年比1,115万4千円の増となっている。増額の主な理由は、教育用コンピュータが、小学校同様、買い取りであったものを順次リースで入れ替えるための使用料が624万3千円で、541万2千円の増額となっている。また、来年度は中学校が教科書改訂の年となっているので、教師用教科書、指導書等の整備費用として544万1千円が増額となっている。

次に、158ページ4項幼稚園費、1目幼稚園費は、予算額1億6,631万円で前年と比較して2,070万5千円の減である。その要因は、【0001職員給与費】で正規職員が昨年度末3人退職したためと、育休1名分も合わせて減額するので、4人分の給料等、2,332万5千円の減額となっている。

161ページ下の【0003預かり保育事業】は、全園で預かり保育を始めることから、指導員・支援員の賃金、保育に伴う消耗品、エアコン設置費用等819万2千円が増額となっている。

次に、178p、7項学校給食費、1目学校給食費は、予算額1億3,138万1千円で、前年と比較し1,288万9千円の増額となる。本年度に続き、来年度は泉陽中学校区の給食調理

及び配送業務を民間委託し、現在泉陽中学校は調理員 3 人と配送員 1 人体制で給食を実施しているため、臨時調理員 3 人分と配送員 1 人分の賃金468万 2 千円が減額となっている。

増額については、泉陽中学校区の給食業務委託料1,057万6千円に加えて泉陽中学校区を町の一般会計とするので、食材の購入費用である賄い材料費分を予算計上するので、750万 7 千円が増額となっている。

続いて、歳入予算について説明する。14・15 p をご覧いただきたい。13款使用料及び手数料、3 目教育使用料については、公立幼稚園保育料と預かり保育料である。また、一番下の 3 節学校施設使用料 6 万 7 千円は、電柱や地震計等を学校敷地に設置しているため、その使用料を中部電力、東京大学地震研究所等からいただいているものである。

18・19 p の14款国庫支出金、3 目教育費国庫負担金、子どものための教育・保育給付費負担金24万円は、子ども子育て支援新制度によって、町外の認定こども園に通う園児の広域利用に関して、町が認定こども園に支払う施設型給付費に対しての国から町への負担分である。

続いて、20・21 p の国庫補助金であるが、2 目教育費国庫補助金の教育費補助金2,360万 8 千円は、特別支援教育就学奨励費補助金以下 5 件の国からの補助金である。

次に24・25 p をご覧いただきたい。15款県支出金、3 目教育費県負担金の学校教育費負担金12万円は、国庫負担金同様、子ども子育て支援新制度によって、認定こども園に通う園児が居住する市町に対する県からの給付である。国が全国統一費用分の 2 分の 1 に対して県と町が 4 分の 1 ずつ負担するものである。また、26・27 p の 6 目教育費県補助金、2 節学校教育費補助金321万 4 千円であるが、上段の子ども子育て支援給付費補助金については、認定こども園に通う世帯に対する地方単独費用部分の県の補助金16万 4 千円で、下段の子育て支援事業費補助金305万円は、預かり保育運営費・開設準備費の 3 分の 1 にあたる県の補助金である。

次に36・37 p をご覧いただきたい。20款諸収入、3 項雑入、4 目雑入、6 節教育費雑入の5,278万5千円の内、学校教育課分が5,243万3千円である。内訳は、上からコピー用紙代、幼小中学校私用電話料、日本スポーツ振興センター災害共済負担金と下段の学校給食関係の 3 件分である。学校給食費保護者負担金5,160万8千円が、泉陽中学校区の一般会計化に伴い増額となっている。以上が学校教育課所管分の28年度歳入・歳出予算となっている。

続いて平成28年度予算に係る、社会教育課所管の予算について概要を説明をする。

最初に歳出から説明する。「一般会計予算に関する説明書」の P 162・163 をご覧いただきたい。10款、5 項、1 目社会教育総務費は本年度予算額30,453千円であるが、主なものとして、細目0002社会教育総務経費は、1 節報酬、男女共同参画計画策定委員会を年 4 回程度開催するために72千円の増額となり、7 節賃金の臨時雇賃金では562千円の減額となっている。

細目0003北海道森町交流事業費では、友好町との女性交流事業費で、今年度は北海道森町から受け入れる年あたり、交流派遣補助金264千円が不用となるための減額である。

P 164・165 をご覧いただきたい。2 目生涯学習推進費の予算額6,478千円であるが、主なものとして、8 節報償費の中に、平成27年度に県の家庭教育支援員養成事業において、町内から 3 名参加し、平成28年度は主に幼稚園や小中学校で委託事業として実施している家庭教育学級、社会教育係が実施している三歳児親子学級へ出向いて支援するための報酬として32千円増額となっている。19節負担金補助及び交付金 社会教育推進補助金であるが、町内会社会教育学級講演会等補助金への申請が少ないこと。一方で町内会社会教育学級が活発に行われている町内会もあることから、新たにモデル町内会社会教育学級補助金を設けて、このような町内会を応援していきたいと考えている。この社会教育推進補助金の枠の中で、3 町内会を別途に 5 万円以内を予定している。細目0002放課後子ども教室事業費は、18節備品購入費で337千円が減額となっている。

P 166・167 をご覧いただきたい。3 目図書館費25,107千円であるが、主なものとして、細目0002図書館管理運営費は、7 節臨時雇賃金で、夜間開館日を試験的に少し増やすために、229千円の増額となっている。13節委託料は、図書館システム保守点検委託料が、導入当初の補償期間終了に伴い380千円の増額となっている。18節備品購入費は図書購入費が、108千円増額となっている。

次に、P 168・169 をご覧いただきたい。4 目文化振興費20,263千円は、前年度比3,178

千円の増額となっている。増減の主なものとして、細目0001職員給与費は、文化振興係1名が増員となり、3名分の職員給与費4,331千円の増額となっている。細目0002文化振興総務経費では、7節賃金臨時雇職員分454千円、文芸三木の里編集経費308千円、町政60周年記念事業の文化協会委託事業分350千円がそれぞれ減額となっている。

5目文化財保護費は、2,640千円であるが、主なものとして、次のページの11節需用費の修繕費になるが、旧江間家土蔵修繕の1,294千円、13節委託料では、遠州の小京都文化財関係の看板整備委託料671千円が減額となっている。

次に、P172・173をご覧ください。7目文化会館費は82,205千円であるが、主なものとして、細目0003文化会館管理運営費6,761千円の減額となっており、11節需用費では、燃料費725千円、光熱水費は656千円の減額、修繕費は1,853千円の増額となっている。

次ページの13節委託料では、文化会館大ホール天井耐震補強設計委託料3,240千円が減額となっている。昨年度町政60周年記念事業分として計上した、13節委託料の舞台装置操作業務委託料324千円、19節負担金補助及び交付金は、森町ミキホール文化振興会への補助金4,000千円がそれぞれ減額となっている。

次のP176・177をご覧ください。埋蔵文化財発掘調査費は、政策的経費として今回は計上していない。

10款6項1目保健体育総務費は、23,096千円であるが、主なものとして、細目0002保健体育振興費は、2,766千円の減額となっており、町政60周年記念事業関係、11節需用費の519千円、13節委託料スポーツ教室開催委託料1,300千円、19節負担金補助及び交付金森町体育協会補助金は、森町ロードレース大会招待選手分の1,000千円がそれぞれ減額となっている。また、同じ19節負担金補助及び交付金 静岡市町駅伝大会実行委員会交付金は、選手派遣用の貸し切りバス代の値上がりなどにより、50千円の増額となっている。

次のP178・179をご覧ください。2目体育施設費は、23,627千円であるが、主なものとして、細目0001体育施設管理費は3,351千円が減額となっており、増減の主なものとして、7節臨時雇賃金は、総合体育館夜間管理1名及びトレーニング室管理員2名の勤務が、昨年度10月からの半年から1年間になり、3,922千円の増額、11節需用費消耗品費は、総合体育館開館に伴うものとして、346千円の減額、光熱水費は、1,697千円の増額、修繕費は、政策的経費として今回計上していないので、5,390千円の減額、13節委託料では総合体育館分として、電気保安管理、消防設備機器保守、エレベーター保守、トレーニング機器等の電気工作物等保安管理業務点検に、1,024千円の増額、清掃業務、植栽管理の社会体育施設清掃等管理として、3,284千円の増額、14節使用料及び賃借料は、体育館の倉庫として借りていた、旧周智高校体育館及び落成記念事業に伴う車両借上料444千円の減額、18節備品購入費は、町営グラウンドのベンチが老朽化による更新費用として、209千円の増額となっている。

総合体育館建設関係では、細節0002総合体育館建設費が、体育館の完成に伴い廃止して、細目合計55,524千円が減額となっている。以上が歳出である。

引き続き歳入の説明をさせていただく。P14・15をご覧ください。13款、1項、3目教育使用料2節社会教育使用料は9,379千円で、前年度比2,363千円の増額となっている。増減の主なものとして、総合体育館使用料2,370千円、文化会館使用料146千円の増額、小中学校夜間照明施設使用料は156千円の減額となる。

次にP26・27をご覧ください。15款2項6目教育費県補助金1節社会教育費補助金で、学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金と名称を変更しているが、放課後子ども教室推進事業費分1,880千円及び今年新設された、家庭教育支援事業の補助金20千円で、合わせて1,900千円を計上している。これは、補助対象経費に国が1/3、県が1/3の補助額となっている。

次にP36・37をご覧ください。20款、3項、4目雑入、6節教育費雑入の中の2行目のコピー用紙代（図書館）は書籍等コピー代8千円を、3行目4行目は、庁舎等占有施設電気・水道料他は、文化会館内「やさい畑」等の占有使用料82千円、体育館は自動販売機の電気料金37千円、5行目の公衆電話手数料は文化会館分1千円を、6行目の各種講座等参加者一部負担金は124千円、8行目の文芸三木の里等売上代は100千円を計上している。社会教育課所管分の説明は以上である。

委員長

以上について質疑を求める。

委員 長	学校教育課の職員が1名増という説明があったがどのポストか。
学校教育課長	平成27年度に1名増員となっている。予算は1月1日現在の人員で計上するため、平成27年度は年度途中で補正予算を組んだ。補正後の金額と28年度予算の金額は同程度となっている。平成28年度の人員は実質は平成27年度と変わらない。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	報第49号について説明を求める。
学校教育課 課長補佐	報第49号 平成28年度就学支援対象児の就学支援結果について 就学支援委員会で小学校及び中学校で発達に遅れがある子や情緒・自閉等の障害がある子が来年度、どのような就学をするのがいいか検討した。教育委員会の決定を表の一番右側に掲載している。ご覧いただきたい。飯田小15人、宮園小8人、森小14人、旭が丘中5人の特別支援学級入級者がいる。
委員 長	以上について質疑を求める。
岡本委員	だんだん毎年増えていくのは、理解が深まり認知された結果である。子どもが支援を受けなければならなかった時の親の反応は。
教育 長	昔に比べて数だけでいうと毎年増えている。いい意味で考えれば法律が改正されて障がいがある子に対する合理的な配慮を踏まえて学校としてやるべきことが決まってきた。保護者についても、理解が進んだ。学校サイドからするとどの学校にも受け入れる施設があるわけではない。また、周囲の通常児の理解も進んでいる。皆同じという見方ができている。特別支援学級に入るといふ保護者の抵抗も昔よりは少なくなっている。特別支援学級の入級については、保護者の同意が不可欠である。どの地区においても特別支援の推進については開かれてきており、数も増えてきている。
岡本委員	支援を必要としている子が増えているが、親御さんが自分の子について理解できていると思う。昔は特別扱いされるのが嫌だという意識が強かったが、現在は支援を受けて自分の子がよりよい環境の中で生活できる方向に向いている。学校に任せてしまうのではなく、親御さんたちの悩みを聞いてあげる機関も必要ではないか。森町独自の身近な機関も将来的にできると素晴らしいと思う。園田幼稚園では、悩みを抱える親御さん同士の交流会があったが、それをバックアップする機関があれば、親御さんのフォローもできるし、子どものケアも深くできる。
委員 長	支援を必要とする子どもが増えているというよりは、むしろ、語弊があるかもしれないが社会が増やしている。それは、一人一人の子どもの違いや個性を良く見ていけばいくほど、こういう子どもたちが増える。しかし、その後が大事。また、元に戻す。一般の子どもたちの中で子どもの個性を育てたり直したりしていく教育の方法もある。カタカナ言葉でいうとインクルーシブという教育が学校教育の中でも求められて、それに向けて努力している。社会の中でもインクルーシブがさらに研究・実践されていくと、特別支援教育がよりよいものになっていくと思われる。
教育 長	世の中の流れとして「チーム学校づくり」が国をあげてやり始めた。スクールソーシャルワーカーが今までは未配置だったが、配置するようになってくる。どこへ声をかけたらいいか等の専門性を有した相談体制が整う。
岡本委員	教育委員会が方向性を出してしまうのではなくて、そういう場をつくる。それに参加したいという親御さんがいれば、意見交換ができる場を教育委員会でつくってあげて、そこに集まって話し合いをするだけでもよい。学校の先生には相談しにくい場面もあると思う。井戸端会議的な場をつくって、教育委員会が良い方向性やアドバイスをできるとい

	い。
教 育 長	今後のあり方として検討させていただく。
委 員 全 員	他に質疑なく承認。
委 員 長	報第50号について説明を求める。
学校教育課長	<p>報第50号 平成27年度末教育委員会事務局職員の人事異動について  役場職員の人事異動について3月24日に内示があった。学校教育課では、3月末で三倉徳泰課長補佐が退職する。後任として産業課の古川敏勝主幹が補佐に昇格して配属された。野口庶務係長が総務課職員係長に異動となった。後任には住民生活課の岩井秀司主幹が異動してくる。古川補佐は学校管理係長を兼務する。小澤学校管理係長は学校教育係長を担当する。学校教育係の吉筋克次指導主事が退職し、後任として森小学校を退職する浦野校長にお願いした。山下マスマ副園長は幼稚園指導主事として教育委員会付けとなる。</p> <p>社会教育課では社会教育課課長補佐として、杉山秀彦税務課課長補佐が単独の補佐として配置された。社会教育係は嘱託の山本奉子さんが退職され、後任には元小学校教諭の金田智世さんをお願いした。文化振興では、白澤慶主事がアクティ森へ派遣され、1名減となった。社会体育では、中村貢主幹が社会体育スタッフ長となった。中村安宏社会教育課課長補佐は、社会教育課課長補佐が解かれ、建設課の課長補佐となった。文化会館では浦上館長が退職のため、3月末で退職される杉山真人総務課長が4月から館長となる。企画管理係長の朝比奈主幹が森町病院経営企画係長に異動になり、後任には、総務課行政係長の栗田主幹が配属となった。図書館では、嘱託の鈴木久子さんの退職に伴い、上下水道課を3月で退職となる山下美恵子さんが配置となった。</p>
委 員 長	報第50号について説明を求める。
委 員 長	社会教育課は1人減となったのか。
教 育 長	文化振興が1人減るが、臨時職員を雇う予定である。
委 員 長	新しい体制でがんばっていただきたい。
委 員 全 員	他に質疑なく承認。

## 5 連絡事項

委 員 長	連絡事項について、説明を求める。
教 育 長 庶 務 係 長 社会教育課長 社会教育課 課長補佐	<p>離任式・着任式における管理職の異動について  次回定例会開催日は、4月28日(木)とする。  入学(園)式の教育委員会告辞について  離任式・着任式の役割の確認について  総合体育館のガラス破損について  文芸誌三木の里の配布について</p>

## 6 閉 会

委 員 長	<p>以上で本日の日程を終了し、閉会とする。  14時59分閉会</p>
-------	--

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 委 員 長

---

委 員

---

委 員

---

委 員

---

教 育 長

---

事 務 局

---